

令和3年度 さいたま市立大戸小学校 自己評価書

校長 長島 クミ子 印

1 学校で設定した「令和3年度の目標」及び関係する「評価項目」について

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」

重点目標「明るく、自ら考え、落ち着いて学習に取り組む児童の育成」

- (1) 確かな学力の育成 <かしこく> 進んで勉強する子 Grit Growth Global  
わかる授業の工夫と個に応じた指導、学習規律や学習習慣の育成、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善および読書活動の充実を図り、GIGA スクール構想の研修を行う。
- (2) 豊かな心の育成 <やさしく> 思いやりのある子 Grit Growth  
コミュニケーション能力の育成、心を育てる環境づくり、道徳教育の充実、「心のサポート手引き」やいじめ防止アンケート等を活用しながら生徒指導・教育相談の充実を図る。
- (3) 健やかな体の育成 <たくましく> がんばりぬく子 Grit  
体育授業の工夫改善と体力向上、運動量の確保、望ましい生活習慣の定着、安全教育の推進を図る。
- (4) きれいで開かれた学校 <安全で信頼される学校> Grit Growth  
施設設備の安全管理、花と緑に包まれた学校づくり、家庭・地域と連携の強化、学校からの情報発信やボランティアの受け入れ、コミュニティ・スクールの導入準備を行う。
- (5) 教職員が学校業務改善計画を立て、ワーク・ライフ・バランスの充実を図る。

2 評価結果について

- ・「学校の学習はわかる」と答えた児童の割合は93%にのぼり、学習規律の定着と工夫した授業が行われたと考えられる。また、「授業中タブレットを使うことが得意」と答えた児童の割合は79%であり、概ねタブレットの操作ができているといえるが、GIGA スクール構想の具現化に向けて、一層の指導の充実を図りたい。
- ・「学校評価アンケート」では、「友だちとなかよく過ごし、人のいやがることはしていない」と答えた児童の割合は97%にのぼり、昨年度より高まった。良好な人間関係にあるといえるが、引き続き家庭やSCおよびSSWと連携を図りながら児童理解に努めたい。
- ・「休み時間に進んで体を動かす」と答えた児童の割合は75%と2年連続で低下した。大規模改修工事の影響で校庭が狭まったため、休み時間の校庭使用を制限したためと思われる。来年度も工事が続く上、感染症対策も継続されるので、運動量を確保するために工夫を凝らしていく。
- ・保護者アンケート「学校は、子どもが安全に快適に学校生活を送れるよう努めている」と答えた保護者の割合は85%（わからない9%）で、コロナ禍においても、家庭・地域と連携を図った学校安全管理を行えたといえる。
- ・昨年度に発表したG・Sの研究成果をもとに、今年度も継続した指導を行うことができた。
- ・「学校における働き方改革」の視点から留守番電話を導入したところ、若干ではあるが、在校時間の短縮につながった。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝したい。

3 次年度に向けた具体的な改善策について

- ・GIGA スクール構想の実現に向けて、教職員の研修の一層の充実を図って、児童のICT機器活用の機会をさらに増やして、一人一台のPCを活用できる技能を高める。
- ・令和2年12月に始まった大規模改築工事により校庭面積が3分の2となった上、令和4年度は2学期まで耐震工事で体育館が使用できない。体育の授業や体育行事等の従来通りの実施が大変難しくなった。教職員が知恵を出し合い、一層の創意工夫を図った授業を展開し、児童の運動量確保に努める。
- ・令和4年度も感染症拡大防止を意識した学校生活が継続されると予想するので、学校からの情報発信を積極的に行う。また、コミュニティ・スクールの導入にあたり、家庭・地域と連携をさらに強化し、充実した学校運営を図りたい。

※ A4判1枚程度に簡潔にまとめる。教育委員会に写しを提出する。